

さぬき市財政健全化策の取組結果について

平成30年度から令和4年度までの5年度間における取組結果について、取組項目全体で実績額(効果額)が35億793万9千円となり、目標額17億円に対し、18億793万9千円上回る結果となりました。

効果額で大きなものは、「①歳入の確保」のうち、ふるさと納税によるもので、目標額2億5,000万円に対し、8億8,858万5千円の実績額があり、目標額を6億3,858万5千円上回りました。また、「④投資的経費の抑制」で普通建設事業における一般財源の抑制について、目標額1億6,500万円に対し、9億5,897万4千円となり、目標額を7億9,397万4千円上回る結果となりました。

各項目については、次のとおりです。

①歳入の確保 【目標額 10億3,780万円 実績額 18億9,895万8千円】

市税及び税外債権の徴収業務において、コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、徴収管理員の増員や徴収業務の職員研修等により、高い徴収率を維持しました。また、債券運用、未利用財産の活用のほか、ネーミングライツ、ふるさと納税をはじめとした新たな収入の確保に取り組んだ結果、目標額を8億6,115万8千円上回る結果となりました。

②人件費の削減 【目標額 1億4,050万円 実績額 1億8,901万7千円】

第3次さぬき市定員適正化計画に基づく定員及び組織の適正化に加え、令和元年度の寒川庁舎開庁に合わせた組織体制の見直しを行いました。また、働き方改革の取組みにより時間外業務を縮小するなど、人件費の削減と効率的な組織運営に取り組んだ結果、目標額を4,851万7千円上回る結果となりました。

③施設管理経費等の抑制 【目標額 2億1,620万円 実績額 1億7,125万9千円】

平成28年3月に策定した「さぬき市公共施設等総合管理計画」に基づき、石田小学校、神前小学校の寒川小学校への統合、津田・鶴羽幼稚園、津田中央・津田東部保育所の津田こども園への統合など公共施設の再編や寒川庁舎開庁に合わせ4支所を縮小し3出張所としたほか、寒川公民館の除却など公共施設の適量化を図りました。また新電力の導入や実情に応じたスクールバスの運行を行うことなどにより、施設管理経費等の抑制を図りました。

しかしながら、公共施設の再利用等の見通しが不明確なこともあり、本健全化策で見込んでいた売却や除却など進んでいないことや、電気料金の大幅な値上げにより効果額が算定上圧縮されたことを受け、目標額を4,494万1千円下回る結果となりました。

④投資的経費の抑制 【目標額 1億6,500万円 実績額 9億5,897万4千円】

普通建設事業について、規模の縮小や段階的整備、着手時期の延伸などの見直しを行いました。特に、一定額の予算枠内で長期的に実施している事業は、その優先性や投資効果、財源の確保等について再点検を行い、事業費の抑制を図りました。また、財源につきましては、国県等の補助

金等の交付、より有利な起債の活用、事業の目的に合った基金の取り崩しにより一般財源額の抑制を図ったことから、目標額を7億9,397万4千円上回る結果となりました。

⑤補助金の見直し 【目標額 9,750万円 実績額 2億4,216万6千円】

シルバー人材センター、商工会議所、社会福祉協議会に対して、補助事業の必要性や妥当性を検証し、減額をしました。定住関連補助事業や太陽光発電システム設置、合併浄化槽設置に対する補助については、他市町の状況、効果等により補助事業の継続をしています。また、イベント等に対する補助は、令和2～3年度はコロナウイルス感染症拡大の影響で大幅に減額したものの、令和4年度にはイベントが再開され、補助金額が増加したものです。その結果、目標額を1億4,466万6千円上回る結果となりました。

⑥特別会計等の経営健全化による繰出金等の削減

【目標額 4,300万円 実績額 4,756万5千円】

簡水特会の統合、その他繰出金の見直し等により繰出金を抑制するとともに、一部繰越金の精算を行うことにより、目標額を456万5千円上回る結果となりました。